

するとアブラハムは言つた。「この地には、神を畏れるということが全くありませんので、人々は妻のゆえに私を殺すだろうと思つたのです。」（11）

土地の人々を恐れるあまり、自分の妻を妹だと偽つて告げたアブラハムでした
が、神はアブラハムではなく、彼に騙されてサラを召し入れたゲラルの王アビ
メレクの上に災いを下します。アビメレクに問いつめられて、アブラハムが苦し
い言い訳をしたのが今日の聖句です。実際には、神を畏れる心を持つていたのは
アビメレクであつて、アブラハムは神よりも人を恐れてたのです。責められるべきはアブラハムでした。それにもかかわらず神は、不義なアブラハムを罰せず、
正しいアビメレクを裁かれたのです。何という風変わりな神でしょう。正しい者
が裁かれて、偽善的な者が裁かれないといるのです。しかしこれが私たちの神で
はないでしようか。神は正しいキリストを十字架で裁き、罪ある私たちを赦された
のです。私たちはこの風変わりな神によつて救い出された者たちです。